

令和3年5月8日

会員各位

公益社団法人大分県臨床工学技士会
理事長 小川 一

透析患者 covid-19 感染対応についてのお願い

新緑の候、会員の皆様におかれましてはご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ感染対応が大分県でもステージ3まで上がり、透析患者への対応方法に不安を持っている透析施設スタッフも多いと思います。

大分大学医学部 腎泌尿器外科学講座 診療教授 /血液浄化センター 副センター長 安藤忠助先生より(大分大学医学部 病院長 三股 浩光先生の伝言として)以下の連絡がありました。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染者が急増し、COVID-19 患者の入院施設選定にこれまで以上に時間がかかるようになりました。透析患者においては、受け入れ施設が限定されるため、入院施設選定にはさらに時間がかかります。従いまして、COVID-19 の維持透析患者が確認された場合、入院施設が決定するまでの期間は維持透析施設で COVID-19 透析患者の透析をしていただくことの再確認をお願いいたします。透析患者はもちろん、医療スタッフの感染対策もこれまで以上に徹底していただけますと幸いです。

発信した内容につきまして、会員の皆様方から施設長、透析室担当責任者の先生にお伝えいただければ幸いに存じます

この情報発信にて、会員の皆様におかれましては不安も多いかと思いますが、問い合わせがある場合 公益社団法人大分県臨床工学技士会理事長 小川まで(勤務先 TEL0977-67-1611 技士会事務局 TEL097-579-6565)にご連絡ください。

会員の皆様とともに困難を乗り越えていきたいと思っております。会員皆様のご健康を祈念するとともに透析患者コロナ感染対策及び対応について更なるご協力のほどよろしくお願いいたします。

敬 具